

幼児用ブランコ 定期点検表

平成

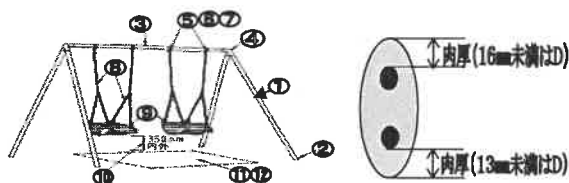
年度

公園事務所

公園名	点検日	総合判定	点検者
設置年月日	第1回		
整理番号	第2回		

総合判定欄には
A=異常なし B=経過観察
C=注意観察 D=使用禁止
を記入

〔特記事項〕



肉厚(16mm未満はD)

肉厚(13mm未満はD)

部位	測定 表NO	点検ポイント	重要度	結果		備考
				第1回	第2回	
① 柱部		ぐらつき	●			
		折れ曲がり	●			
		傾き				
		凹み				
		腐食				
② 柱部(地際部)		塗装				
		腐食	●			
		FRP剥離・浮き				
③ 梁材		基礎の露出				露出の均一性、欠け等
		ぐらつき	●			
		変形	●			
		腐食				
④ 接合金具		塗装				
		亀裂、割れ	●			
		ボルト抜け	●			
⑤ 吊り金具		ボルトゆるみ				増し締め
		亀裂、割れ	●			
	①	吊り金具磨耗	●			
	②	吊りボルト(径16mm)のゆるみ、がたつき				
⑥ 振り金物		梁材固定ボルトのゆるみ				増し締め
		異音				点検時にグリスを補充
		亀裂、割れ	●			
	③	ボルト穴側磨耗	●			
⑦ 吊り輪	④	吊り輪穴側磨耗	●			
	⑤ ⑨	大(径13mm)磨耗	●			
	⑥ ⑩	小(径9mm)磨耗	●			
	⑪	座板部(径9mm)磨耗	●			
⑧ 鎖	⑦ ⑪	鎖(径9mm)磨耗	●			
		ねじれ				
⑨ 座板部	⑬	吊り輪(径13mm)磨耗	●			
		変形、亀裂等				
		座面の損傷、損壊				
⑩ 座板離隔	⑭	350mm～400mm	●			
⑪ 人工芝		ピン等の飛び出し	●			速やかに処置を行う
		はがれ				
		破れ				
		損耗				
⑫ 地表面		ガラス片、金属片、石・瓦礫等	●			速やかに除去を行う
		不陸				
⑬ 人止め柵(柱部)		ぐらつき				
		折れ曲がり				
		凹み				
⑭ 人止め柵 (柱部FRP巻き)		腐食	●			
		FRP剥離・浮き				

重要度の●は、特に注意して確認する項目

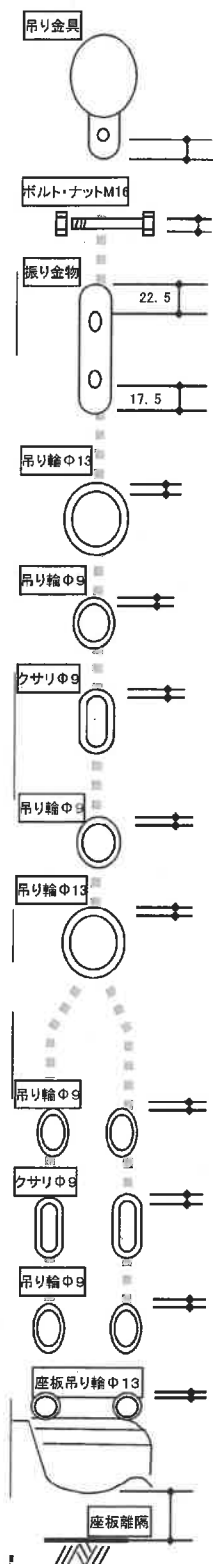
結果欄には

○異常なし △経過観察 ▲注意観察 ×異常有り

ブランコ吊部材計測表(幼児用)

(吊り金具、振り金物、吊り輪、くさり、座板部、座板離隔)

公園名	公園	点検日	平成	年	月	日
点検者名						



	措置判断 基準 (mm)	ブランコ 1						ブランコ 2						
		ラン ク	吊部材 左		ラン ク	吊部材 右		ラン ク	吊部材 左		ラン ク	吊部材 右		
①	A=21.0~19.0 B=18.9~17.0 C=16.9~15.0 D=14.9		左 mm	右 mm		左 mm	右 mm		左 mm	右 mm		左 mm	右 mm	
②	目 視		サンプル調査時のみ記載 mm						サンプル調査時のみ記載 mm					
③	A=22.5~20.0 B=19.9~18.0 C=17.9~16.0 D=15.9		mm			mm			mm			mm		
④	A=17.5~16.0 B=15.9~14.0 C=13.9~13.0 D=12.9		mm			mm			mm			mm		
⑤	A=13.0~11.0 B=10.9~10.0 C= 9.9~ 9.0 D= 8.9		mm			mm			mm			mm		
⑥	A=9.0~8.0 B=7.9~7.0 C=6.9~6.0 D=5.9		mm			mm			mm			mm		
⑦	A=9.0~8.0 B=7.9~7.0 C=6.9~6.0 D=5.9 (注) クサリ目視		mm			mm			mm			mm		
⑧	A=9.0~8.0 B=7.9~7.0 C=6.9~6.0 D=5.9		mm			mm			mm			mm		
⑨	A=13.0~11.0 B=10.9~10.0 C= 9.9~ 9.0 D=8.9		mm			mm			mm			mm		
		ラン ク	前	後	ラン ク	前	後	ラン ク	前	後	ラン ク	前	後	
⑩	A=9.0~8.0 B=7.9~7.0 C=6.9~6.0 D=5.9		mm	mm		mm	mm		mm	mm		mm	mm	
⑪	A=9.0~8.0 B=7.9~7.0 C=6.9~6.0 D=5.9		mm	mm		mm	mm		mm	mm		mm	mm	
⑫	A=9.0~8.0 B=7.9~7.0 C=6.9~6.0 D=5.9		mm	mm		mm	mm		mm	mm		mm	mm	
⑬	A=13.0~11.0 B=10.9~10.0 C= 9.9~ 9.0 D= 8.9		mm	mm		mm	mm		mm	mm		mm	mm	
⑭	〔 D<300 座板離隔 350~400 〕		mm						mm					

注: クサリについては、目視で一番磨耗している場所を測定する。

(A: 異常なし B: 経過観察 C: 注意観察 D: 使用禁止)

幼児用ブランコ(コトブキ社製) 定期点検表

平成 年度

公園事務所

公 園 名		点検日	総合判定	点検者
設 置 年 月 日		第1回		
		第2回		
整理番号	総合判定欄には A=異常なし B=経過観察 C=注意観察 D=使用禁止			

	[特記事項]
--	---

部位	測定表 NO	点検内容	重要度	結果			備 考
				第1回	第2回		
① 柱部		ぐらつき	●				
		折れ曲がり	●				
		傾き					
		凹み					
		腐食					
② 柱部(地際部)		塗装					
		腐食	●				
		基礎の露出	●				
③ 梁材		防食テープ破れ等					
		ぐらつき	●				
		変形	●				
		腐食					
		塗装					
④ 接合金具		亀裂・割れ	●				
		ボルト抜け	●				
		ボルトゆるみ					増し締め
⑤ 吊り金具 ベアリング入り(砲金)	①	ガタツキ	●				
		異音	●				
		イモネジorダブルナット 有・無					
		ロックナット 有・無					
⑥ 吊り輪	②	径9mm 接合部磨耗	●				
⑦ くさり部	③⑥	鎖(径9mm)接合部磨耗	●				
		ねじれ					
⑧ シャックル	④⑤	径8mm イモねじ 有・無	●				
⑨ 座板部	⑦	吊り輪磨耗確認	●				
		ネジ緩み確認	●				
		本体破損等確認	●				
⑩ 座板離隔	⑧	500~550mm	●				
⑪ 人工芝		ピン等飛び出し	●				速やかに除去を行う
		はがれ					
		破れ					
⑫ 地表面		損耗					
		ガラス片・金属片・石・瓦礫等	●				速やかに除去を行う
⑬ 人止め柵 (柱部)		不陸					
		ぐらつき					
		折れ曲がり					
⑭ 人止め柵 (地際部)		凹み					
		腐食	●				
		基礎の露出	●				
⑮ 年齢シール		防食テープ破れ等					
		シール(有・無)の状況					

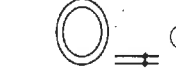
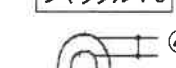
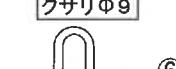
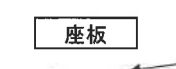
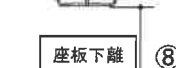
重要度の●は、特に注意して確認する項目

結果欄には、
○ … 異常なし
▲ … 注意観察△ … 経過観察
× … 異常有り

コトブキ(株) (幼児用) ブランコ吊部材計測表

ベアリング(砲金)入りつり金具・吊り輪・くさり・座板部・座板離隔

公園名		点検日	平成	年	月	日
点検者名						

	措置判断 基準 (mm)	ブランコ 1				ブランコ 2			
		ラン ク	吊部材 左	ラン ク	吊部材 右	ラン ク	吊部材 左	ラン ク	吊部材 右
 ①	イモねじタイプ 全体の触診 (稼動) (変形) ベアリング・ボルトの目視・触診		☐ ガタツキ ☐ 異音 *ガタツキ・異音はD判定 上部 ☐ イモねじ ☐ ダブルナット 下部 ☐ イモねじ ☐ ダブルナット		☐ ガタツキ ☐ 異音 *ガタツキ・異音はD判定 上部 ☐ イモねじ ☐ ダブルナット 下部 ☐ イモねじ		☐ ガタツキ ☐ 異音 *ガタツキ・異音はD判定 上部 ☐ イモねじ ☐ ダブルナット 下部 ☐ イモねじ		☐ ガタツキ ☐ 異音 *ガタツキ・異音はD判定 上部 ☐ イモねじ ☐ ダブルナット 下部 ☐ イモねじ
 ②	ロックナットタイプ 全体の触診 (稼動) (変形) ベアリング・ボルトの目視・触診		☐ ガタツキ ☐ 異音 *ガタツキ・異音はD判定		☐ ガタツキ ☐ 異音 *ガタツキ・異音はD判定		☐ ガタツキ ☐ 異音 *ガタツキ・異音はD判定		☐ ガタツキ ☐ 異音 *ガタツキ・異音はD判定
 ③	A=9.0~8.0 B=7.9~7.0 C=6.9~6.0 D=5.9		mm		mm		mm		mm
 ④	A=9.0~8.0 B=7.9~7.0 C=6.9~6.0 D=5.9 (注) クサリ目視	上部	mm	上部	mm	上部	mm	上部	mm
 ⑤	A=8.0~7.3 B=7.2~6.5 C=6.4~5.6 D=5.5		mm		mm		mm		mm
 ⑥	シャックル緩み確認 イモねじ ボルト目視		イモねじ ☐ 有り		イモねじ ☐ 有り		イモねじ ☐ 有り		イモねじ ☐ 有り
 ⑦	A=9.0~8.0 B=7.9~7.0 C=6.9~6.0 D=5.9 (注) クサリ目視	前	後	前	後	前	後	前	後
 ⑧	座板 吊り輪摩擦 ねじ緩み ガタツキ 本体破損等 各確認								
 ⑨	D<450 座板離隔 500~550		mm		mm		mm		mm

注：クサリについては、部材が変わる接点（上部・下部とも）を測定するとともに、触診によりバリの有無などを確認する。

(A：異常なし、 B：経過観察 C：注意観察 D：使用禁止)

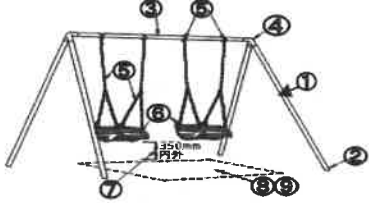
特記事項	

幼児用ブランコ(日都産業) 定期点検表

平成22年度

公園事務所

公 園 名			点検日	総合判定	点検者
設 置 年 月 日			第1回		
			第2回		
整理番号	2	総合判定欄には A＝異常なし B＝経過観察 C＝注意観察 D＝使用禁止 を記入			

	〔特記事項〕				

部位	測定 表 施	点検内容	重要度	結果			備 考
				第1回	第2回		
① 柱部		ぐらつき	●				
		折れ曲がり	●				
		傾き					
		凹み					
		腐食					
② 柱部(地際部)		塗装					
		腐食	●				
		基礎の露出	●				
③ 梁材		FRP 剥離・浮き					
		ぐらつき	●				
		変形	●				
		腐食					
④ 接合金具		塗装					
		亀裂・割れ	●				
		ホルト抜け	●				
⑤ 接合金具以下一式		ホルト緩み					増し締め
	①	取り付けホルトナット緩み	●				
	②	がたつき	●				
		異音	●				
	③	部材径(18mm)	●				
		アルミ巻き	●				
	④	鍛造品径(17mm)	●				
	⑤	フックカバー	●				
	⑥	鍛造品径(16mm)	●				
	⑦	シャックル(φ9)	●				
	⑧	シャックルホルト	●				
	⑨	くさり(φ9)	●				
	⑩	シャックルホルト	●				
	⑪	シャックル(φ7)	●				
	⑫	丸棒ステンレス(φ9.5)	●				
	⑬	取り付けホルトナット緩み	●				
⑥ 座板部		劣化・変形					
⑦ 座板離隔	⑭	400mm～450mm	●				
⑧ 人工芝		ヒンの飛び出し	●				速やかに処置を行う
		はがれ					
		破れ					
⑨ 地表面		損耗					
		ガラス片・金属片・石、瓦礫等	●				速やかに除去を行う
⑩ 人止め柵 (柱部)		不陸					
		ぐらつき					
		折れ曲がり					
⑪ 人止め柵 (柱部FRP巻き)		凹み					
		腐食	●				
		基礎の露出	●				
⑫ 年齢シール		FRP 剥離・浮き					
		シール(有 無)の状況					

重要度の ● は、特に注意して確認する項目

結果欄には、○…異常なし △…経過観察 ▲…注意観察 ×…異常有り

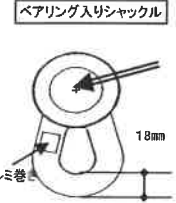
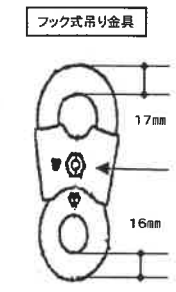
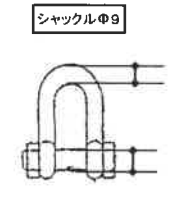
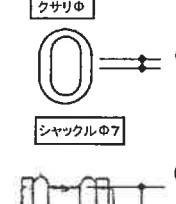
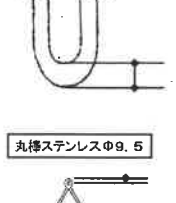
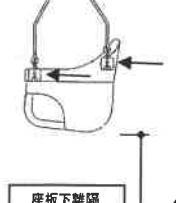
日都産業（株）（幼児用）ブランコ吊部材計測表

（吊り金具、ベアリング入りシャックル、フック式吊り金具、シャックル、くさり、座板部、座板離隔）

公園名

点検者名

点検日

措置判断 基準 (mm)	ブランコ 1		ブランコ 2			
	ラン ク	吊部材 左	吊部材 右	ラン ク	吊部材 左	吊部材 右
 ① 触診 (緩み等)		☐ 確認	☐ 確認		☐ 確認	☐ 確認
 ② 触診 聴診 (可動)		☐ ガタツキ ☐ 異音	☐ ガタツキ ☐ 異音		☐ ガタツキ ☐ 異音	☐ ガタツキ ☐ 異音
 ③ A=18.0~17.0 B=16.9~15.0 C=14.9~13.0 D=12.9		mm	mm		mm	mm
 ④ A=17.0~16.0 B=15.9~14.0 C=13.9~12.0 D=11.9		mm	mm		mm	mm
 ⑤ カバー確認		異常 ☐ 有り ☐ 無し	異常 ☐ 有り ☐ 無し		異常 ☐ 有り ☐ 無し	異常 ☐ 有り ☐ 無し
 ⑥ A=16.0~14.5 B=14.4~13.0 C=12.9~11.5 D=11.4		mm	mm		mm	mm
 ⑦ A=9.0~8.0 B=7.9~7.0 C=6.9~6.0 D=5.9		mm	mm		mm	mm
 ⑧ A=9.0~8.0 B=7.9~7.0 C=6.9~6.0 D=5.9		mm	mm		mm	mm
⑨ 注 A=9.0~8.0 B=7.9~7.0 C=6.9~6.0 D=5.9		mm	mm		mm	mm
⑩ A=7.0~6.4 B=6.3~5.7 C=5.6~5.0 D=4.9		mm	mm		mm	mm
⑪ A=7.0~6.4 B=6.3~5.7 C=5.6~5.0 D=4.9		mm	mm		mm	mm
⑫ A=9.5~8.6 B=8.5~7.7 C=7.6~6.8 D=6.7		mm	mm		mm	mm
⑬ 目視 触診		異常 ☐ 有り ☐ 無し	異常 ☐ 有り ☐ 無し		異常 ☐ 有り ☐ 無し	異常 ☐ 有り ☐ 無し
⑭ D<350 座板離隔 400~450		mm	mm		mm	mm

注：くさりについては、目視で一番磨耗している場所を測定する。

(A：異常なし、 B：経過観察 C：注意観察 D：使用禁止)

公園事務所

吊り秤の構造図

吊り秤の各部の番号は以下の通りです。

- 1: 吊り钩
- 2: 吊り钩の固定部
- 3: 吊り钩の固定部
- 4: 吊り钩の固定部
- 5: 吊り钩の固定部
- 6: 吊り钩の固定部
- 7: 吊り钩の固定部
- 8: 吊り钩の固定部
- 9: 吊り钩の固定部
- 10: 吊り钩の固定部
- 11: 吊り钩の固定部
- 12: 吊り钩の固定部
- 13: 吊り钩の固定部
- 14: 吊り钩の固定部
- 15: 吊り钩の固定部
- 16: 吊り钩の固定部
- 17: 吊り钩の固定部

吊り秤の各部の名称は以下の通りです。

- 吊り钩
- 吊り钩の固定部
- 吊り钩の固定部
- 吊り钩の固定部
- 吊り钩の固定部
- 吊り钩の固定部
- 吊り钩の固定部
- 吊り钩の固定部
- 吊り钩の固定部
- 吊り钩の固定部
- 吊り钩の固定部
- 吊り钩の固定部
- 吊り钩の固定部
- 吊り钩の固定部
- 吊り钩の固定部
- 吊り钩の固定部

吊り秤の各部の寸法は以下の通りです。

- 吊り钩の固定部の寸法: 400~450

吊り秤の各部の材料は以下の通りです。

- 吊り钩の固定部: スプリング
- 吊り钩の固定部: フック

結果欄には、 ○ … 異常なし △ … 経過観察
 ▲ … 注意観察 × … 使用禁止

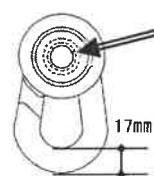
(吊り金具、ベアリング入り吊り金具、吊り輪、くさり、座板部、座板離隔)

公園名		点検日	平成	年	月	日
点検者名						

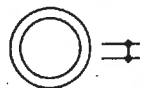
吊り金具取付けボルト・ナット



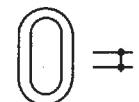
ベアリング入り吊り金具



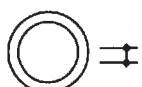
吊り輪φ13



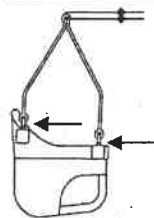
くさりφ9



吊り輪φ9



ステンレス製金具φ10



座板下離隔



措置判断 基準 (mm)	ブランク 1				ブランク 2			
	ラン ク	吊部材 左	吊部材 右		ラン ク	吊部材 左	吊部材 右	
① ① 触 診 (緩み等)		☐ 確 認	☐ 確 認			☐ 確 認	☐ 確 認	
② ② 触 診 聴 診 (稼動)		☐ ガタツキ ☐ 異 音	☐ ガタツキ ☐ 異 音			☐ ガタツキ ☐ 異 音	☐ ガタツキ ☐ 異 音	
③ ③ A=17.0~15.0 B=14.9~13.0 C=12.9~12.0 D=11.9		mm	mm			mm	mm	
④ ④ A=13.0~11.0 B=10.9~10.0 C=9.9~9.0 D=8.9		mm	mm			mm	mm	
⑤ ⑤ A=9.0~8.0 B=7.9~7.0 C=6.9~6.0 D=5.9 (注) くさり目視		mm	mm			mm	mm	
⑥ ⑥ A=9.0~8.0 B=7.9~7.0 C=6.9~6.0 D=5.9		mm	mm			mm	mm	
⑦ ⑦ A=9.0~8.0 B=7.9~7.0 C=6.9~6.0 D=5.9		mm	mm			mm	mm	
⑧ ⑧ 目 視 触 診		前 後	前 後			前 後	前 後	
⑨ ⑨ D<350 座板離隔 400~450		mm				mm		

注： くさりについては、目視で一番磨耗している場所を測定する。

(A：異常なし、B：経過観察、C：注意観察、D：使用禁止)

幼児用ブランコ(ウチダ工業㈱製) 定期点検表

平成22年度

公園事務所

公 園 名		点検日	総合判定	点検者
設 置 年 月 日		第1回	／	
整理番号	総合判定欄には A … 異常なし B … 経過観察 C … 注意観察 D … 使用禁止 を記入	第2回	／	

	【特記事項】

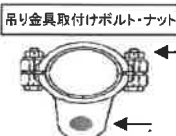
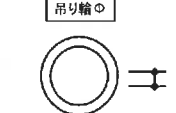
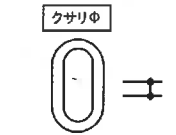
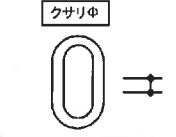
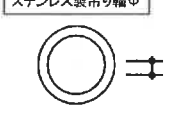
部位	測定 表No	点検内容	重要度	結果			備 考
				第1回	第2回		
① 柱部		ぐらつき	●				
		折れ曲がり	●				
		傾き					
		凹み					
		腐食					
		塗装					
② 柱部(地際部)		ガーター部腐食	●				
		ガーター部破損					
		基礎の露出					露出の均一性、除去
③ 梁材		ぐらつき	●				
		変形	●				
		腐食					
		塗装					
④ 接合金具		亀裂・割れ	●				
		ボルト抜け	●				
		ボルト緩み					
⑤ 吊り金具		亀裂・割れ	●				増し締め
		スプリングナット	●				
	①	梁材固定ボルト・ナット緩み	●				Wナット(ナット・袋とじナット)
		ベアリング固定ボルト・ナット緩み	●				
⑥ ベアリング入り 吊り金具	②	ベアリングのガタツキ	●				
		ベアリングの異音	●				
	③	吊り金具(径18mm)接合部磨耗	●				
⑦ 吊り輪	④	吊り輪(径9mm)接合部磨耗	●				
	⑥	ステンレス製(径8mm)接合部磨耗	●				
⑧ 鎖	⑤	鎖(径9mm)接合部磨耗	●				
		ねじれ					
⑨ 座板部	⑦	吊り金具ロットボルト(M10)磨耗	●				目視・触診
		座面の損傷・損壊	●				
		変形・亀裂など	●				
		取り付けねじの緩み					増し締め
		(背もたれ部)年齢シールの状態					
⑩ 座板離隔	⑧	350mm~450mm	●				
⑪ 人工芝		ピン等の飛び出し	●				速やかに処置を行う
		はがれ					
		破れ					
		損耗					
⑫ 地表面		ガラス片・金属片・石・瓦礫 等	●				速やかに除去を行う
⑬ 人止め柵(柱部)		ぐらつき					
		折れ曲がり					
		凹み					
⑭ 人止め柵 (柱部FRP巻き)		腐食	●				
		FRP剥離・浮き					
⑮ 年齢シール		シール(有・無)の状況					

重要度の ● は、特に注意して確認する項目

結果欄には、○ … 異常なし △ … 経過観察
▲ … 注意観察 × … 使用禁止

ウチダ工業（株）（幼児用）ブランコ吊部材計測表
 （吊り金具、ベアリング入り吊金具、吊り輪、くさり、座板部、座板離隔）

公園名		点検日	平成	年	月	日
点検者名						

	措置判断 基準 (mm)	ブランコ 1				ブランコ 2			
		ラン ク	吊部材 左	吊部材 右	ラン ク	吊部材 左	吊部材 右	吊部材 左	吊部材 右
 ①	触 診 (緩み等)		☐ 確 認	☐ 確 認		☐ 確 認	☐ 確 認	☐ 確 認	☐ 確 認
 ②	触 診 聴 診 (稼動)		☐ ガタツキ ☐ 異 音	☐ ガタツキ ☐ 異 音		☐ ガタツキ ☐ 異 音	☐ ガタツキ ☐ 異 音	☐ ガタツキ ☐ 異 音	☐ ガタツキ ☐ 異 音
 ③	A=18.0~16.0 B=15.9~14.0 C=13.9~13.0 D=12.9		mm	mm		mm	mm	mm	mm
 ④	A=9.0~8.0 B=7.9~7.0 C=6.9~6.0 D=5.9		mm	mm		mm	mm	mm	mm
 ⑤	A=9.0~8.0 B=7.9~7.0 C=6.9~6.0 D=5.9		mm	mm		mm	mm	mm	mm
 ⑥	A=9.0~8.0 B=7.9~7.0 C=6.9~6.0 D=5.9		mm	mm		mm	mm	mm	mm
 ⑦	A=9.0~8.0 B=7.9~7.0 C=6.9~6.0 D=5.9	前	後	前	後	前	後	前	後
 ⑧	A=8.0~7.3 B=7.2~6.5 C=6.4~5.6 D=5.5	前	後	前	後	前	後	前	後
 ⑨	目 視 触 診	前	後	前	後	前	後	前	後
 ⑩	D<300 座板離隔 350~450								

注： くさりについては、目視で一番磨耗している場所を測定する。

（A：異常なし、B：経過観察、C：注意観察、D：使用禁止）

(ブランコ幼児用 タカオ社製) 定期点検表

平成 年度

公園事務所

公 園 名	点検日	総合判定	点検者
設 置 年 月 日	第1回		
整理番号	第2回		
総合判定欄には A・・・異常なし B・・・経過観察 C・・・注意観察 D・・・使用禁止 を記入			

	〔特記事項〕

部位	測定表 NO	点検内容	重要度	結果			備 考
				第1回	第2回		
① 柱部		ぐらつき	●				
		折れ曲がり	●				
		傾き					
		凹み					
		腐食					
② 柱部(地際部)		塗装					
		腐食	●				
		基礎の露出	●				
③ 梁材		防食テープ破れ等					
		ぐらつき	●				
		変形	●				
		腐食					
④ 接合金具		塗装					
		亀裂、割れ	●				
		ボルト抜け	●				
⑤ ベアリング入り 吊金具		ボルトゆるみ					増し締め
	①	亀裂、割れ	●				
		ベアリング部のカタツキ	●				
		ベアリング部の異音	●				
		梁材取付けボルトの緩み					増し締め
⑥ シャックル	②	固定ボルトの緩み					
		U型(径12mm)磨耗	●				
⑦ 吊り輪	③⑤	ボルト緩み					増し締め
⑧ 鎖		吊り輪(径10mm)磨耗	●				
	④	鎖(径9mm)磨耗	●				
⑨ 座板部		ねじれ					
	⑥⑦	SS吊り金具(径10mm)部磨耗	●				
		SS吊り金具の変形	●				
		SS吊り金具取付けボルトの緩み					増し締め
⑩ 座板離隔	⑧	変形、亀裂					
		座面の損傷、損壊					
⑪ 人工芝		400～450mm	●				
		ピン等の飛び出し	●				速やかに処置を行う
		はがれ					
		破れ					
⑫ 地表面		損耗					
		ガラス、金属片、石・瓦礫等	●				速やかに除去する
⑬ 人止め柵 (柱部)		不陸					
		ぐらつき					
		折れ曲がり					
⑭ 人止め柵 (地際部)		凹み					
		腐食	●				
		基礎の露出	●				
⑮ 年齢シール		防食テープ破れ等					
		シール(有・無)の状況					

重要度の ● は、特に注意して確認する項目

* その場で処置出来るものを除いては使用禁止とする

結果欄には、○・・・異常なし △・・・経過観察

▲・・・注意観察 ×・・・異常あり

タカオ（株）（幼児用）ブランコ吊部材計測表

（ベアリング入り吊金具、シャックル、吊り輪、くさり、座板部、座板離隔）

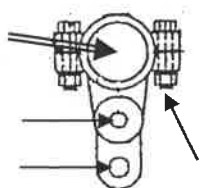
公園名		点検日	平成	年	月	日
点検者名						

	措置判断 基準 (mm)	ブランコ 1		ブランコ 2	
		ラン ク	吊部材 左 吊部材 右	ラン ク	吊部材 左 吊部材 右
①	触 診1 (ボルト) 触 診2 及び聴診 (稼動部)		☐ 確認 ☐ ガタツキ音 ☐ 異音		☐ 確認 ☐ ガタツキ音 ☐ 異音
②	A=12.0~11.0 B=10.9~10.0 C=9.9~9.0 D=8.9		mm		mm
③	A=10.0~9.0 B=8.9~8.0 C=7.9~7.0 D=6.9		mm		mm
④	A=9.0~8.0 B=7.9~7.0 C=6.9~6.0 D=5.9 (注) クサリ目視		mm		mm
⑤	A=10.0~9.0 B=8.9~8.0 C=7.9~7.0 D=6.9		mm		mm
⑥	A=10.0~9.0 B=8.9~8.0 C=7.9~7.0 D=6.9		mm		mm
⑦	目 視 触 診				
⑧	D<350 [座板離隔 400~450]		mm		mm

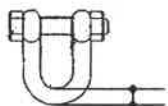
注： クサリについては、目視で一番磨耗している場所を測定する。

（A：異常なし、B：経過観察、C：注意観察、D：使用禁止）

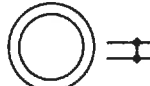
ベアリング入り吊り金具取付部



1/2シャックル φ12



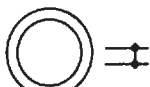
吊り輪 φ10



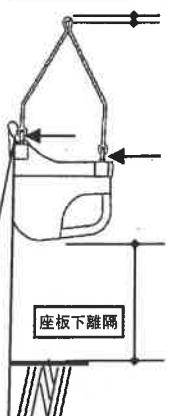
クサリφ9



吊り輪 φ10



座板SS吊り金具φ10



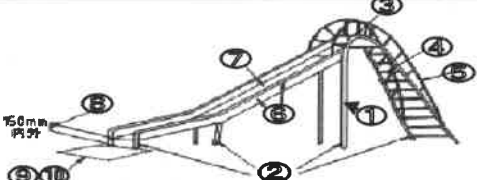
ボルトの緩みや、取付け部の破損に注意する

滑り台 定期点検表

平成 年度

公園事務所

公園名		点検日	総合判定	点検者
設置年月日		第1回		
整理番号		第2回		
総合判定欄には A ... 異常なし B ... 経過観察 C ... 使用禁止 を記入				

	[特記事項]			

部位	点検内容	重要度	結果			備考
			第1回	第2回		
① 柱部	ぐらつき					
	傾き					
	折れ曲がり	●				
	凹み					
	腐食	●				
② 柱部(地際部)	腐食	●				
	FRP剥離					
	FRP浮き					
③ 踊り場	腐食					
	変形					
	側面 すき間					
④ 階段・踏み板	磨耗					
	腐食					
⑤ 階段・手すり	腐食					
	ぐらつき	●				
	接合部					
⑥ 滑り面(鉄部) (側板・手すり 等)	腐食					
	手すりパイプ下部腐食	●				
	損耗					
	突起物					
	ぐらつき					
	ボルトゆるみ					
⑦ 滑り面 (FRP部)	FRP亀裂	●				
	FRP損耗	●				
	FRP浮き	●				
⑧ 着地部	150mm内外					
⑨ 人工芝	損耗					
	破れ					
	はがれ					
⑩ 地表面	石・ガレキ類					
	ガラス片	●				
	その他異物					
	突出物(基礎・石等)					
⑪ 塗装の状況	水たまり					
	塗装					

重要度の ● は、特に注意して確認する項目

結果欄には、
○ ... 異常なし
△ ... 経過観察
× ... 異常(不安全・故障)

幼児用滑り台 定期点検表

平成 年度

公園事務所

公 園 名		点検日	総合判定	点検者
設 置 年 月 日		第1回		
		第2回		
整理番号	総合判定欄には A ... 異常なし B ... 経過観察 C ... 使用禁止 を記入			

	〔特記事項〕

部位	点検内容	重要度	結果			備 考
			第1回	第2回		
① 柱部	ぐらつき					
	傾き					
	折れ曲がり	●				
	凹み					
	腐食					
② 柱部(地際部)	腐食	●				
	FRP剥離					
	FRP浮き					
③ 踊り場	腐食					
	変形					
	裏面ボルト突出	●				
④ 階段・踏み板	磨耗					
	腐食					
⑤ 階段・手すり	腐食					
	ぐらつき	●				
	接合部					
⑥ 滑り面(鉄部) (側板・手すり 等)	腐食					
	手すりパイプ下部腐食	●				
	損耗					
	突起物					
	ぐらつき					
	ボルトゆるみ					
⑦ 滑り面 (FRP部)	FRP亀裂	●				
	FRP損耗	●				
	FRP浮き	●				
⑧ 着地部	50mm内外					
⑨ 人工芝	損耗					
	破れ					
	はがれ					
⑩ 地表面	石・カレキ類					
	ガラス片	●				
	その他異物					
	突出物(基礎・石等)					
⑪ 塗装の状況	水たまり					
	塗装					

重要度の ● は、特に注意して確認する項目

結果欄には、
 ○ ... 異常なし
 △ ... 経過観察
 × ... 異常(不安全・故障)

公園事務所

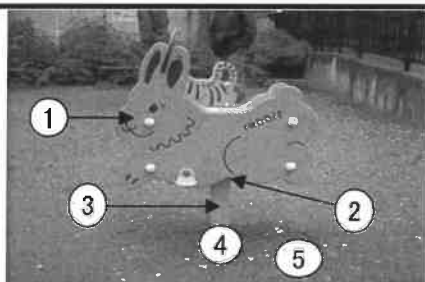


〔特記事項〕

結果欄には、 ○ … 異常なし
△ … 経過観察
× … 異常(不安全・故障)

公園事務所

公 園 名		点検日	総合判定	点検者
設 置 年 月 日				
整理番号	総合判定欄には A … 異常なし B … 経過観察 C … 使用禁止 を記入			



〔特記事項〕

[illegible]

結果欄には、 ○ … 異常なし
△ … 経過観察
× … 異常あり

平成 年度

				
ペンギン	ビーバー	ウサギ	クジラ	

[illegible]

結果欄には、○ … 異常なし
△ … 経過観察(要小補修)
× … 異常(不安全・故障)

平成 年度

公 園 名			点検日	総合判定	点検者
設 置 年 月 日			第1回		
			第2回		
整理番号		総合判定欄には A … 異常なし B … 経過観察 C … 使用禁止 を記入			

				
だんごむし	たけ	はす	かえる	

特記事項

[illegible]

重要度の ● は、特に注意して確認する項目

結果欄には、○ … 異常なし
△ … 経過観察(要小補修)
× … 異常(不安全・故障)

平成 年度

				
まよいがめ	とらステップ	ワニぱっくん	くまくらダー	

特記事項

[illegible]

重要度の ● は、特に注意して確認する項目

結果欄には、○ … 異常なし
△ … 経過観察(要小補修)
× … 異常(不安全・故障)